

4. 職員研修

大学図書館職員長期研修

- ①主 催 国立大学法人筑波大学
- ②日 時 平成25年7月1日(月)～7月12日(金)
- ③会 場 筑波大学春日エリア情報メディアユニオン2階 情報メディアホール
[7月12日のみ第一エリア(中地区)筑波大学附属図書館(中央図書館)]
- ④受講者 国立大学ならびに大学共同利用機関32名、公立大学1名、
私立大学3名 計35名
- ⑤研修報告

平成25年度 大学図書館職員長期研修参加報告

国際教養大学図書館 勝浦 栄子

平成25年7月1日から12日までの約2週間、全国の大学、大学共同利用機関から35名が参加し、大学図書館職員長期研修が筑波大学春日エリア情報メディアユニオンを主会場に開催された。図書館マネジメント総論8科目、学術情報流通等各論12科目、演習・班別討議を午前2科目、午後2科目、1科目あたり90分の講義を受講した。

講義資料：<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/choken/2013/nittei.html>

ここでは、印象に残った講義のいくつかと、問題発見・課題演習、班別討議について紹介する。

<図書館マネジメント総論>

概要：大学図書館を取り巻く経営的環境を把握し、大学図書館マネジメントに関する知識を養う。

■「大学と大学図書館」

東京大学の事例をもとに、変わる大学、図書館、リーダーとしての図書館長、期待される図書館員について学ぶことができた。近年、図書館の役割が変わりつつある。学生が集う場としての図書館という意味では本学の図書館は活用されており、スタッフとしてどう関わっていくかが課題だと思った。また、情報系の知識を身につける必要があると実感した。

■「経営学入門」

研修の参加者が事前に提出した、利用者の要望に上手く応えられた、応えられなかった実例をもとに、問題解決の方法について学ぶことができた。こちらが提示する回答が、顧客の潜在的なNeeds(要求)を汲み取れていない場合があることが分かり、Wants(欲求)とNeeds(要求)に違いがあることを知ることができたのは収穫だった。"顧客の期待と満足"に関しては、顧客が何を期待しているかを予測し、その期待以上のサービスを提供する必要がある、通常のサービスは"当たり前"であり、顧客がBenefit(利

益)と感じるような伝え方も考える必要があることを学んだ。

< 学術情報流通等各論 >

概要：学術情報に関する最新の知識を講義し、大学図書館サービスのあり方を考える。

■「学術情報コミュニケーションの動向」

J U S T I C Eの活動について理解を深めることができた。機関リポジトリを設置していない本学では、ちょうど情報を集めている段階だったため、現社会のOA化の全体像を知ることができたとともに、ゴールドOAやグリーンOAについて学ぶことができた。『電子資料契約実務必携』は、ぜひ参考にさせていただきたいと思う。

■「公立図書館の戦略」

業務委託のメリット・デメリットを踏まえた上で、潮来市立図書館の実例を聞くことができ、とても参考になった。業務委託になったとしても、スタッフの業務が減ることではなく、サービス向上のための打合せや話し合いなど小まめに行うことが重要という話はとても興味深かった。“何のための図書館か、誰のための図書館か”を明確にした上で、図書館のミッションを共有することができるよう、委託業者との関係を密にすることで、更に図書館の価値を高めていければと思った。

■「大学図書館の学習支援」

教育コンセプトの転換により、学習者自ら学ばなければならなくなった。このような状況の中で、本学ではすでに学習支援センター等があり、大学図書館が学習支援を行う役割を担うとは何だろう、何をしたら良いのかと悩んでいた。同志社大学の学習支援・教育開発センターの例を聞き、役割の違い、関わり方の違いが明確になりとても参考になった。

■「利用者の情報行動」

学生は幼い頃からインターネット、携帯電話、iPad、電子情報源を用いた環境におり、授業中のtwitterは普通というデジタルネイティブである。デジタルネイティブの特性として、小さな画面に慣れているため、PCメールが書けない、使いこなせないという話は意外だった。また他の実験結果では、“呼吸をするようにGoogleを使い”、本物を見ずにネット情報だけで物事を判断しがち、親しみがないデータベースは使わず、情報検索に簡単で速いものを好み、Wikipediaを起点としたピボット行動をとる傾向があるという。現在の学生の情報探索行動を目の当たりにし、利用者の立場になって図書館サービスを充実させようと努力してきたつもりであったが、デジタルネイティブへの認識自体が違っていただかもしれないと実感した。学生だけでなく、教員の情報行動を知ることによって、サービスの提供方法も見えてくるのではないか。

< 演習・班別討議 >

概要：課題対応能力、コミュニケーション能力の向上を図るための講義・演習を行い、

班別討議、発表を通して実践を行う。

初めの2日間は、問題発見・課題演習を行った。6班に分れ、事前課題で提出していた「職場での困りごと」をもとに、カードBS法、KJ法、マインドマップ法、ロジックツリー等の手法を使い、問題発見・解決法を演習形式で学んだ。

ひとりで抱え込まず自分でできるものでも組織を巻き込むこと、解決の優先順位をつける、話し合いの場では黙り込まず声を出す、大きな変革はせずとも常に問題意識を持つなど、具体的な話が胸に響いた。特に、企業ではロジックツリーの作成を10人で1週間くらい考え、「これでいける！」と全員が思える解決策を実行するという話は新鮮だった。

2週目には各班で具体的な問題を設定し、解決策のプレゼンテーションをいった。私の3班は単科大学5校で構成され、「学生に頼られる図書館化計画」をプレゼンした。今回はラーニングコモンズに関する発表が6班のうちの半数あり、一時需要があったものの利用が減少しているラーニングコモンズの現状に対し、学習支援を図書館がどのように行うか、問題意識の高さを伺うことができた班別討議であった。

<所感>

研修が始まる前は、研修と日常業務の不安があり、2週間をととても長く感じたが、いざ始まってみるとあっという間に時間は過ぎてしまい、研修が終わる頃には、他の参加者と時間が足りない、もっと時間が欲しい！と話すまでになった。班別討議の準備は大変だったが、班の絆を深めることができ大変良い経験になった。場所や図書館の規模は違っても、図書館を愛し良くしていきたいという気持ちは皆一緒だったので、とても励みになった。大変充実した講義内容と、同世代の他大学図書館職員との絆は、かけがいのないものとなった。

この研修から、大学職員として、図書館員として、専門的な分野を持ちながらも、学習支援を支えることができるような教育的な知識も持ち、OAに関する知識や技術を身につけていくことの必要性を痛烈に感じた。少しずつではあるが、一步一步、日々成長できる自分でありたい。

最後に、長期研修に参加する機会を与えてくださった公立大学図書館協議会に心よりお礼を申し上げます。また、研修期間中の業務をサポートしてくださった職場の皆様にも感謝しております。

平成 25 年度大学図書館職員長期研修日程

7 月	午 前		午 後		
	9:15～10:45		11:00～12:30		
1 月	受付 9:30	10:00 オリエンテーション	開講式 文部科学省講話	大学と大学図書館 古田 元夫 東京大学附属図書館長	国立大学図書館の経営 関川 雅彦 東京大学附属図書館事務部長
2 火	問題発見・解決演習		問題発見・解決演習	問題発見・解決演習	問題発見・解決演習
3 水	問題発見・解決演習		問題発見・解決演習	問題発見・解決演習	問題発見・解決演習
4 木	大学経営の課題 吉武 博通 筑波大学教授		私立大学図書館の経営 鈴木正紀 文教大学越谷図書館長補佐/課長	研究者のアクセス手法 I 江夏 由樹 一橋大学附属図書館長	ディスカバリーサービスのデザイン 宇陀則彦 筑波大学准教授
5 金	経営学入門 I 佐野享子 筑波大学准教授		経営学入門 II 佐野享子 筑波大学准教授	大学図書館の学習支援 井上真琴 同志社大学 学習支援・ 教育開発センター事務長	班別討議
6 土					
7 日					
8 月	研究者のアクセス手法 II 中山伸一 筑波大学附属図書館長		公立図書館の戦略 船見康之 潮来市立図書館長	図書館建築と設備 植松貞夫 跡見学園女子大学教授	班別討議
9 火	大学図書館職員の新たな役割 竹内比呂也 千葉大学附属図書館長及び アカデミック・リンク・センター長		学術情報コミュニケーションの動向 熊淵智行 国立情報学研究所 学術基盤推進部図書館連携・協力室長	古典資料の保存と利用 綿抜豊昭 筑波大学教授	班別討議
10 水	図書館と法 石井夏生利 筑波大学准教授		利用者の情報行動 逸村 裕 筑波大学教授	大学評価と大学図書館 土屋 俊 大学評価・学位授与機構教授	班別討議
11 木	国立情報学研究所の戦略 尾城孝一 国立情報学研究所 学術基盤推進部次長		出版業における戦略と展望 持谷寿夫 みすず書房社長	班別討議 発表	班別討議 発表
12 金	筑波大学中央図書館 見学 9:15～10:00		対人ストレスマネジメントとしての ヒューマン・リレーションスキル 橋本佐由理 筑波大学准教授 10:00～11:30	閉講式 11:30	

会場：筑波大学春日エリア 情報メディアユニオン 2階 メディアホールほか

7月12日(金)は、第一エリア(中地区) 筑波大学附属図書館(中央図書館)